

オオキヌタソウ

アカネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Rubia chinensis Regel et Maack var. *glabrescens* (Nakai) Kitagawa

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が限られており、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎は直立し、高さ30～60cm、無毛である。葉は4枚輪生し、卵形または広披針形で、先は鋭く尖り、長さ0.5～2cmの柄がある。オオキヌタソウ(アカネ属)はキヌタソウ(ヤエムグラ属)とは葉の形がよく似ているが、キヌタソウが無柄なのに対し、オオキヌタソウは有柄であることで区別がつく。

国内分布

北海道～九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

多年草、花期は5～7月。

生育環境

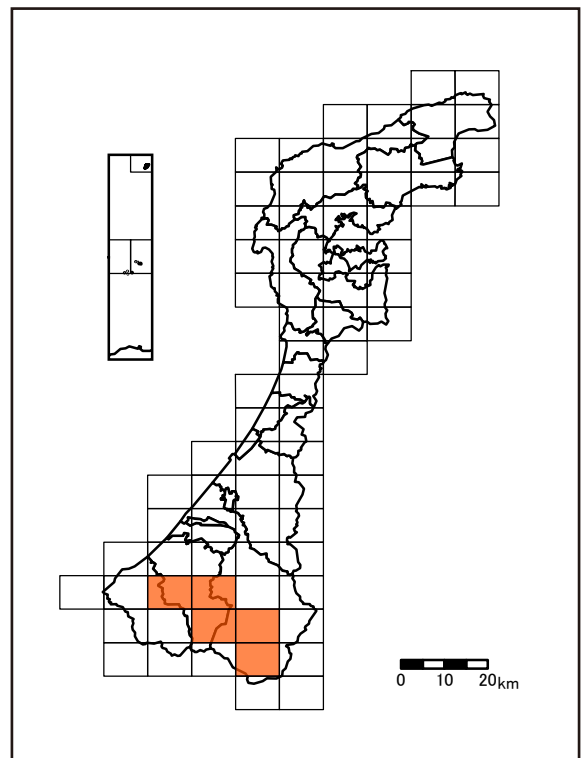
山地林内。

危険要因

道路工事、踏みつけ、自然遷移、草地開発、産地局限。



小野ふみゑ・2004年6月20日・白山市



県内の分布